

第 1 1 6 回

中小企業景況調査報告書

〔平成20年 4月～ 6月期実績〕
〔平成20年 7月～ 9月期予測〕

平成20年7月
群馬県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査 要 領

1. 調査の目的

この調査は、商工会地区内の小規模企業の経営動向とその特性を継続的に把握し、その分析結果により、商工会の経営回復普及事業が効果的に実施されることを目的としている。

なお、本報告書のD・I値とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index、景気動向指数) の略であり、増加 (上昇・好転・長期化) 企業割合から減少 (低下・悪化・短期化) 企業割合を差し引いた値を示すものである。

D・Iがプラス (+) なら……強気 (楽観)

D・Iがマイナス (-) なら……弱気 (悲観)

(例) 売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、

D・I指数…… $50\% - 20\% = 30\%$

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

2. 調査期間

今回は、平成20年6月1日を調査時点とし、期間は平成20年4月～平成20年6月期である。

3. 調査方法

調査対象企業への商工会経営指導員による聞き取り面談調査による。

4. 調査実施商工会別の調査対象企業数及び回収率

商工会名 (人口:人) 平成17年12月1日現在	調査対象企業	製造業	建設業	小売業	サービス業
渋川市赤城 (11,935)	15	3	3	6	3
桐生市黒保根 (2,610)	15	3	3	4	5
渋川市子持 (11,723)	15	4	5	3	3
群馬伊勢崎 (73,307)	15	3	3	4	5
上野村 (1,522)	15	4	3	4	4
下仁田町 (9,514)	15	3	3	4	5
東吾妻町 (14,494)	15	3	3	5	4
草津町 (7,276)	15	3	3	4	5
川場村 (4,191)	15	4	2	5	4
玉村町 (38,163)	15	3	3	4	5
合計 (構成比%)	150 (100%)	33 (22.0%)	31 (20.7%)	43 (28.7%)	43 (28.7%)
回答企業数	150	33	31	43	43
回収率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※桐生市黒保根は、平成17年6月1日の人口

下仁田町、草津町は、平成18年4月1日推計の人口

5. 業種別構成

(1) 製造業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
食料品	5	15.2
飲料・たばこ・飼料	1	3.0
繊維	1	3.0
木材・木製品	3	9.1
家具・装備品	7	21.2
印刷・同関連業	2	6.1
プラスチック製品	1	3.0
窯業・土石製品	2	6.1
金属製品	2	6.1
はん用機械器具	1	3.0
業務用機械器具	2	6.1
電気機械器具	2	6.1
輸送用機械器具	3	9.1
その他	1	3.0
合 計	33	100.0

(2) 建設業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
総合工事業	17	54.8
職別工事業	10	32.3
設備工事業	4	12.9
合 計	31	100.0

(3) 小売業

業 種 内 訳	企業数	構成比%
織物・衣服・身の回り品	3	7.0
飲食料品	20	46.5
機械器具	2	4.7
その他小売業	18	41.9
合 計	43	100.0

(4) サービス業







業 種 内 訳	企業数	構成比%
道路貨物運送業	2	4.7
技術サービス業	1	2.3
宿泊業	8	18.6
飲食店	15	34.9
洗濯・理容・美容・浴場	8	18.6
その他の生活関連	1	2.3
娯楽業	2	4.7
その他の教育・学習支援	1	2.3
自動車整備業	5	11.6
合 計	43	100.0

群馬県全産業の景況概況









































今期（平成20年4月～6月期）の各産業売上高（完成工事高）D I 値に見る業況判断は、製造業：▲8.6→▲9.4、建設業：▲29.9→▲19.3、小売業：▲42.2→▲32.5、サービス業：▲25.0→▲11.7となった。製造業は小幅ながら悪化傾向、建設業、小売業、サービス業は大幅な回復傾向であった。製造業は悪化傾向とは言え薄曇、建設業とサービス業は曇、小売業は雨の景況となった。

来期（平成20年7月～9月期）予想では、製造業は▲9.4→▲3.1と回復の見通し、建設業は▲19.3→▲26.7と悪化の見通し、小売業▲32.5→▲44.2とサービス業▲11.7→▲27.9は今期の回復を上回り大幅に悪化する見通しとなった。

凡例

D I 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表 示						
内 容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）の推移

年月 業種	平成18年度				平成19年度				平成20年度	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
製造業										
建設業										
小売業										
サービス業										

平成 20 年 7 月 1 日付群馬経済研究所発表資料では、県内の全体的な景気状況を「**県内景気は、足踏み状態にある。**」としている。

〔個人消費〕⇒大型小売店販売は 2 ヶ月連続で前年比減少、乗用車販売も減少に転じ、**やや弱含み。**

4 月の百貨店・スーパー合計の大型小売店販売額（新設店含み）は前年比 2.3%減と 2 カ月連続で前年を下回った。内訳では、飲食料品が微増、衣料品、その他は減少した。

5 月の乗用車販売台数は、前年比 3.3%の減少に転じた。内訳は普通車が 11 か月連続でプラスの一方、小型車は再びマイナスに転じた。なお、軽乗用車は 4 か月ぶりのプラス。

〔生産活動〕⇒**鉱工業生産指数は前月比で 2 カ月連続低下し、弱含んでいる。**

4 月の鉱工業生産指数は、前月比（季節調整済指数）で 3.8%低下し、前年比（原指数）では 6.6%低下した。

前月比では化学工業（けい素樹脂、一般インキ）、輸送機械工業などが上昇した一方で、電気機械工業（半導体・IC 測定器、低圧電力・機器用コンデンサ）、金属製品工業（軽金属製飲料用缶等）などが低下。

輸送機器は、ステアリング装置、船用ディーゼル機関の増加で前月比上昇。

電気機器は、電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイスのいずれも低下。

繊維は、桐生繊維で主力の婦人服地や和装品の売上が低調に推移。太田ニットはマイナス基調。

〔住宅投資〕⇒**新設住宅着工戸数は 3 カ月連続で前年を下回り、弱含んでいる。**

4 月の住宅着工戸数は 1,058 戸、前年比 19.2%減と 3 ヶ月連続で前年を下回り、弱含んでいる。

主力の持家が着工戸数 627 戸、前年比 2.58%増と 14 ヶ月ぶりにプラス。

貸家は着工戸数 336 戸、前年比 2.9%減と 2 ヶ月連続のマイナス。

分譲住宅は着工戸数 93 戸、前年比 72.3%減と 7 カ月連続のマイナス。うちマンションは着工がなく 261 戸減、一戸建は 93 戸で 24.0%増。

〔公共投資〕⇒**請負金額は再び前年を下回り、低調に推移している。**

5 月の公共工事請負額は前年比 15.7%減と再び前年を下回った。内訳は国、市町村がプラスの一方、独立行政法人等、県、地方公社などがマイナス。

〔雇用情勢〕⇒**有効求人倍率は若干ながら再び前月比上昇に転じ、横ばいの動き。**

4 月の有効求人倍率（季節調整値）は前月を 0.01 ポイント上回る 1.64 倍となり、全国 2 位を維持した。

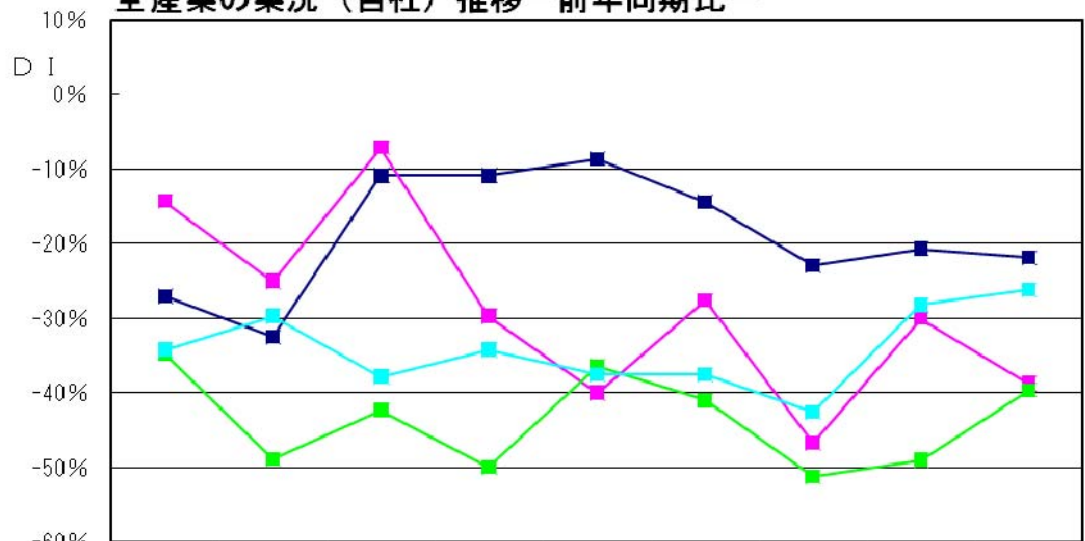
新規求人数は、前年比 0.4%減と 2 カ月連続のマイナス。卸・小売業、医療・福祉業がプラスの一方で、製造業、建設業などはマイナス。新規求職者数は前年比 1.6%減。

〔企業倒産〕⇒**件数は前年比 3 件増加の 11 件、負債総額は 46 億 1500 万円。**

5 月の企業倒産は 11 件で前年比 3 件の増加。負債総額は前年の 4.5 倍の 46 億 1500 万円。

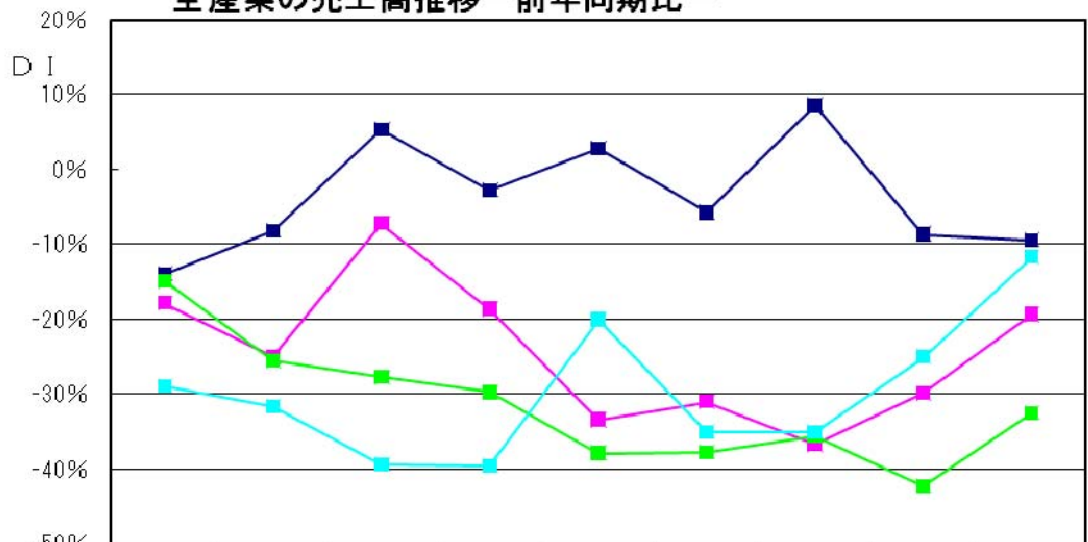
業種別では、建設業が 5 件、製造業、卸売業が各 2 件、運輸業、不動産業が各 1 件。

全産業の業況（自社）推移—前年同期比—



	H18/4 ～6	H18/7 ～9	H18/10 ～12	H19/1 ～3	H19/4 ～6	H19/7 ～9	H19/10 ～12	H20/1 ～3	H20/4 ～6
■ 製造業	-27.0	-32.4	-10.8	-10.8	-8.6	-14.3	-22.9	-20.6	-21.8
■ 建設業	-14.3	-25.0	-7.1	-29.7	-40.0	-27.6	-46.7	-30.0	-38.7
■ 小売業	-34.8	-48.9	-42.3	-50.0	-36.4	-41.0	-51.2	-49.0	-39.6
■ サービス業	-34.2	-29.7	-37.8	-34.2	-37.5	-37.5	-42.5	-28.2	-26.2

全産業の売上高推移—前年同期比—



	H18/4 ～6	H18/7 ～9	H18/10 ～12	H19/1 ～3	H19/4 ～6	H19/7 ～9	H19/10 ～12	H20/1 ～3	H20/4 ～6
■ 製造業	-13.9	-8.2	5.4	-2.7	2.9	-5.7	8.6	-8.6	-9.4
■ 建設業	-17.8	-25.0	-7.2	-18.6	-33.4	-31.0	-36.7	-29.9	-19.3
■ 小売業	-14.9	-25.5	-27.7	-29.7	-37.8	-37.7	-35.5	-42.2	-32.5
■ サービス業	-28.9	-31.6	-39.4	-39.5	-20.0	-35.0	-35.0	-25.0	-11.7